

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		事業所面積は、国の基準以上を確保し、利用人数に応じて部屋を使い分けております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		国の基準を上回る有資格者の職員を配置しております。	質の高い教育を提供するため、人員確保に努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	事業所内の段差解消や老朽化による修繕は今後の課題ですが、老朽化による不具合には迅速に対応できるよう努めております。	段差部分にはクッション材を使ったガードを施しました。今後も利用児童の状況に応じて、必要な修繕やバリアフリー化を進めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		事業所内の清掃を毎日おこなひ、生活空間を快適に保つとともに、児童が触れるものの消毒を徹底し、感染予防に努めております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		児童の状況に応じて、個室を使用できる環境を整えております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	PDCAサイクルを意識し、支援に取り組んでおります。月1回の会議を実施し、目標設定と振り返りをおこない、全職員が参画できるよう工夫しております。	PDCAサイクルの内容を理解し、さまざまな業務の把握にも努めてまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎年保護者様にアンケートを実施し、ご意見を業務や支援の改善・向上につなげております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		必要な情報は職員間で共有したり、情報共有ノート等を活用することで業務内容の改善に努めております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討いたします。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		毎年、事業所内で研修を実施しております。外部の研修会に参加した職員は、事業所内で情報共有をおこない、知識の向上に努めております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムを作成し、公式Webサイトにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		全職員間で利用児童の状況について情報共有を努め、その意見を個別支援計画書に反映させております。また、さまざまな有資格者の見解からアセスメントをおこない、個別性のある計画書作成に努めております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	個別支援計画書を作成する際には、原案をもとに会議を実施し、全職員が利用児童の理解に努めております。	児童の成長に伴う変化や気持ちを見据えた話し合いを進め、すべての児童についての共通理解に努めてまいります。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		個人情報保護に十分配慮し、利用児童ごとに個別ファイルを作成し、計画書や情報をいつでも確認できる環境を整えております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	標準化されたアセスメントツールを活用しております。	利用児童の行動観察や心身の記録をおこない、変化が可視化できるよう努めております。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		個別支援計画書には「本人支援」「家族支援」「移行支援」の内容を設け、それぞれの目標を立案しております。また、5領域に応じた支援内容や計画の策定に努めております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		6ヶ月毎のプランの見直しとともに日々のプログラムにおいても職員間で話し合い、立案、検討、振り返りを実施しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節の行事や畑の世話、清掃・作業練習などを取り入れ、個々の課題に応じた活動プログラムを立案し、固定化しないよう工夫しております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		小集団療育と集団療育を組み合わせて支援を提供し、土曜日には運動やレクリエーション活動を実施しております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		1日の予定表を作成し、内容の周知や役割分担をおこない、業務が円滑に遂行できるよう努めております。	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	送迎業務のために時間的制約がある場合は、翌日に情報共有の場を設け、情報共有ノートを活用しながら連携に努めております。	支援終了後に職員間で情報共有をおこない、勤務外の職員には、情報共有ノートを活用しております。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		電子媒体を通じて、保護者様へ利用児童の日々の様子をお伝えしております。また、療育の記録を残し、児童の変化が分かるよう努めております。	療育記録を振り返る時間を設け、支援の改善に努めております。
	23 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを必要と判断し、適切な見直しを行っているか。	6		児童発達支援管理責任者が定期的なモニタリングを実施し、利用児童に応じた計画の見直しや変更をおこなっております。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を組み合わせ、利用児童一人ひとりに適した支援を実施しております。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	6		利用児童の意思を尊重した支援を心がけており、選択肢の中から選ぶことや、余暇の時間には安全性を確保したうえで好きな活動に取り組みよう支援しております。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		会議前に職員間で情報共有をおこない、児童発達支援管理責任者が代表して参画しております。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	関係機関と連携し、市からの情報収集をおこなうなどして体制づくりに努めております。医療的支援が必要な児童については、保護者様を通じて医療機関と連携しております。	関係機関と連携していただける方法の情報を集めておきたいと考えております。
	28 学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校送迎時に学習状況や集団での様子、児童の体調などの情報を共有し、必要に応じて学校機関との連携の場を設けております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	児童発達支援事業所と連携し、情報交換・共有・理解に努めております。	児童発達支援事業所に限らず、保育所や幼稚園とも必要に応じて連携してまいります。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	情報提供が求められた際は、保護者様の承諾を得たうえで必要な情報提供をおこなっております。	対象児童の卒業時には、関係機関へ必要な情報を提供し、移行先での活動に役立てていただけるよう努めてまいります。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	オンライン研修や事業所訪問を通じて研修を実施し、情報交換や助言を支援に反映できるよう努めております。	研修の予定や内容を職員間で共有し、支援の質向上に努めております。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	地域の法人や公共施設を活用し、社会参加の機会提供に努めております。	学校や児童クラブとの交流機会を設け、インクルージョン実現に向けた支援や計画立案に努めております。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6		現時点では参加しておりませんが、公式Webサイトの資料を確認し、地域理解に努めております。	開催状況に応じ、積極的な参加を心がけております。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		利用時の様子は、連絡帳や送迎時・来所時に保護者様と連携し、共通理解を深めております。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		送迎や家庭訪問時に保護者様のお悩みやご意見をうかがい、迅速な対応に努めております。	支援方法の検討や技術向上のため、研修や実践練習に取り組んでおります。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に詳細な説明をおこない、運営規定は事業所入口に掲示し、常に確認できるようにしております。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		計画書の見直し時には保護者様との話し合いの場を設け、学校や家庭での様子と連携し、内容に反映できるよう努めております。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		計画書の自筆サインをいただき、同意を得た後に保護者様へ交付しております。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者様が来所された際や送迎時には情報共有をおこない、お悩みを相談しやすい関係づくりのため、日頃からの連携を大切にしております。	
	保護者への説明等	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		現時点では保護者会の開催はおこなっておりませんが、今後の課題として検討いたします。
41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		6		苦情があった際は迅速に対応し、職員間で情報共有をおこない、改善・予防に努めております。	
42 定期的に通信等発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		6		公式WebサイトやYouTube、InstagramなどのSNSを活用し、定期的に活動内容を発信しております。	
43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。		6		個人情報は鍵付き書庫で厳重に管理し、施設記録のもと取り扱っております。書類破棄時はシュレッダーを使用し、慎重に処理しております。	
44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		6		連絡帳や事業所より、来所時の対話を通じて、必要な情報連携をおこなっております。	
非常時等の対応	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	個人情報保護の観点から現時点では実施できておりませんが、今後の課題として検討してまいります。	地域住民との交流機会を設けて、インクルージョン社会の実現に向けて努めてまいります。
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		全てのマニュアルを作成し、互に関先に掲示し、いつでも閲覧できるようにしております。事業所よりでは訓練の様子をお伝えしております。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画を作成し、閲覧可能な状態にしております。災害時に備え、訓練の実施や必要な備品を整えております。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	持病のある児童については、対応方法や緊急時の役割分担を共有し、緊急時の対応マニュアルを作成しております。	予防接種をおこなったか、どんな状態でも薬を服用しているのか等についての把握もしてまいります。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	3	3	食物アレルギーのある児童について保護者様へ確認し、おやつの中には個別対応をおこなっております。	保護者様のご要望に応じ、アレルギー対応を実施してまいります。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を実施しております。	
	51 こどもの安全確保に際して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		事業所より連絡帳を通じて、保護者様に取り組み状況を周知できるよう努めております。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事例集を共有し、再発防止に向けた話し合いをおこなっております。また、ヒヤリハット事例集を作成し、閲覧可能な環境を整えております。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		1年以内の定期的な事業所内研修を計画し、実施しております。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		原則として身体拘束はおこないません。生命または身体を保護するためにやむを得ず必要となる場合には、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得て、放課後等デイサービス計画に記載しております。	

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。